

■……2014年から今年15年春にかけて気象状況は、これまで体験したことのないような「荒れ模様」でした。地球全体が変化のきつい自然現象にこれから当分影響されそうです。海外からの観光客たちも「あこがれていたニッポンの四季もこんなものなの」と首をかしげていました。まあ、世の中、良い時もあれば悪い時もあります。戦争の無い70年間と犯罪の少ないニッポンに満足してもらわねば。

■……経済は順調、が政治はガーター騒ぎすぎ、予算審議でも今まで聞いたことのない野党が、未熟ともいえる若い政治家を質問に立たせる。ベテランの自民党閣僚たちにテイ良くあしらわれている姿は余り見られたものではありません。要は野党乱立、議員の頭数が多過ぎる。衆参両院とも議員数を大幅に減らし、政治資金をことごとく削り倒す。未だ当分は続きそうな安倍政権、思い切った合理化をすることですね。

■……「国民生活基礎調査」によると、年間約122万円未滿で暮らす世帯が、ここ4半世紀ほど増え続

け、国民全体の16%を超え、先進国の中では最悪に近いとか。6人に1人が毎月10万円に満たない収入。これを生活苦といわず何というのでしょうか。やっとな政治が貧困問題に焦点を当てる動きをやり出したようで。日本人が「助け合いの精神」を失ったらおしまいです。

関西の有力市が全国に先がけて「教育長」と「教育委員長」を統合して「教育長」一本にしました。能率の悪い官僚制度の典型だった両ポスト、一本化で今後は子どもたちの教育改善に効果をもたらすこと必至。それに引き換え大阪府、大阪市の教育を含む事の混乱。府民、市民たちの有権者は「そもそも首長（府知事、市長）がお粗末。ド素人の「テレビ屋」は去れ」と大声を出し始めました。解決方法は簡単、次回地方選挙で票を入れなければよろしい。両首長ともクビを洗って待つことです。

■……「最も早期で都合のよい時期に開催すべく努力する」——日中韓首脳会談が早まりそうと3国外相会談がやっとな動いて決めました。会談の身はだいたい理想がつかます。

中国、韓国首脳とも日本側が「植民地支配と侵略」について心からおわ

びし、歴史認識で従軍慰安婦問題を強く反省すること。世の中、未だ70年前を振り返って過去にこだわる見方があるもので。

■……今一番こわい話はテロですね。中東からアフリカに飛び火したと思っていいたら、その直後バルカン半島サウジアラビアの南側イエメンでも。なんとここだけで市民126人が自爆テロで命を奪われたといえます。過激派組織「イスラム国」の仕業ですが、このグループ、シリア、イラクなど中東にとどまらず方々に手を広げ出しています。

■……東京・港区の米国大使館に「ケネディ駐日大使を殺す」という脅迫電話が英語で数回あったそうです。沖縄のマグルビー駐沖繩総領事を殺害するという内容の電話も。いわゆるいたづら電話のたぐいでしょ。うが、テレビが産んだ「出たがり症候群人種」がい然として世にはばかれます。日本人の謙虚さ、控えめといった外国人が尊敬する性格がいつの間にか変化を起しているのでしょうか。どのチャンネルにも出てくる軽薄、薄っぺら人間——大和魂をじっくり憶い返してみても、テレビ屋さん。

月刊公論 MONTHLY
KORON

5月号 第48巻5号

平成27年5月1日発行 毎月20日発売
本体価格848円(税別) 送料86円

発行人 大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦
発行所 株式会社社界通信社
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616
印刷所 株式会社廣済堂
取次店 トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。